

令和 2 年度

帯広の研究活動

研修部長 帯広市立稲田小学校

校長 伊賀 真美

1 はじめに

帯広市校長会は小学校 26 校、中学校 14 校で構成している。基本方針や活動の重点に基づいて、全体としての調和を大切にしつつ、小学校長会と中学校長会に分かれて具体的な活動に取り組んでいる。

調査・研究活動を重視し、小中別に研究委員会を設け、実践的な積み上げを目指し研修に励んでいるところである。また道小の研究計画を基に研究体制を整え、帯広の子ども一人一人の健やかな成長に責任をもつ職能団体としてその機能を果たしている。



局長講演（オンラインによる学校経営研究協議会）

2 研究計画

(1) 基本方針

本年度の帯広市校長会及び帯広市小学校長会の運営方針に基づき、今日的教育課題や当面する学校経営諸課題の解明と新しい時代の要請に応える学校経営の充実・発展に資するために校長としての専門的職能向上を図る研修に努める。

(2) 研究主題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち、ともに未来社会の創造に挑戦する子どもを育てる学校経営の推進～

(3) 研究の重点

- ① これからの学校教育の在り方を学校経営の視点から展望し、実践的に究明し、その成果を明らかにする。
- ② 各学校が抱える経営上の諸課題について交流を進め、解決策の具現化に努める。
- ③ 全連小研・道小研との関連を重視し、先を見据えた共同研究体制を構築する。

(4) 研究内容と方法

内外の教育の動向をとらえ、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探求しその内容を発信・交流する。四つの研究委員会を中心に毎月の定例校長会議において実践を交流し、研修を深める。小中合同の研究協議会の開催や紀要の発行を進める。コロナ禍の今年も委員会ごとに工夫しながら研究の歩みを止めず行った。

① 職能向上に関する研修

ア 学校経営委員会

- 教育改革に対応した校長のリーダーシップ等、校長に求められる資質の研究
- 学校経営ビジョンの策定と実現に関する研究
- 校内組織の活性化と組織マネジメントの改善に関する研究
- 次代の学校経営を担う人材育成に関する研究

イ 教育課程委員会

- 生きる力の育成を目指す教育課程の編成と改善に関する研究
- 確かな学力の定着・向上を図る教育課程に関する研究

○道徳教育や人権教育の充実をめざす教育課程に関する研究

ウ 危機管理委員会

○安全安心な環境づくりと安全防災教育推進に関する研究

○子どもの健全育成、いじめや不登校を生まない学校づくりの推進に関する研究

○危機管理に強い組織づくりの意図的・計画的な推進に関する研究

○不当要求や個人情報の保護、情報公開への対応に関する研究

エ 教育課題委員会

○勤労観、職業観を育むキャリア教育の推進に関する研究

○一人一人の教育的ニーズ、自立や社会参加の実現への特別支援教育に関する研究

○持続可能な社会を目指した環境教育の推進に関する研究

○異校種間の学びの連続性を重視した教育活動の推進に関する研究

②学校経営基礎研修の開催

ア 目的

採用2年目までの校長と本市へ校長として初めて転入された校長を対象に、帯広市の学校経営の進め方等について学び交流し、職能向上を図る。

イ 概要

○年間2回実施（10月、12月）

○講話（先輩校長から学校経営上の課題への対応等について話を聞く）

○交流（先輩校長の話から、学んだことや考え等を交流する）

③学校経営研究協議会の開催

ア 目的

校長としての職能向上や学校教育の改善、充実に資するため、今日的教育課題や学校経営の在り方について研修を深める。

イ 概要

○令和2年11月19日（木）小中研究委員会の研究成果の発表等（オンライン開催）

○協議内容

・小学校教育課程委員会

「豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント」

～よりよい社会を創る人権教育の推進～

・中学校生徒指導委員会

「よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実」

○講演

・講演題「校長先生への期待」

・講師 北海道教育庁十勝教育局長 村上 由佳 氏

④スクールリーダー育成セミナー

○令和2年12月28日（月）各校のミドルリーダーを対象にオンラインで開催

「GIGAスクール構想に対応するための学校の取組」

⑤研究紀要「教育新潮」の発行（3月予定）

3 おわりに

帯広市小学校長会は、全連小、道小との研究の関連性を重視し共同研究を進めてきた。今年度はコロナ禍で研究にも制約が多く、道小オホーツク・北見大会、全連小京都大会ともに参加が叶わなかったが、紙面から学び、オンラインやアンケートで互いの実践を交流し合ってきた。危機的状況が続くとも研修に邁進し、校長としての自己研鑽と組織力の向上に努めたい。